

第4回古里小学校・音川小学校統合準備協議会

開催日：令和7年11月18日（火）

開催時間：19時00分～19時30分

開催場所：富山市立古里公民館

出席者：谷口委員、山田委員、西田委員、福島委員、盛委員、中山委員、平野委員、五十嵐委員、新免委員、森委員

事務局：学校再編推進課 課長 山崎 悟

学校再編推進課計画係 係長 春田 圭介

学校再編推進課整備係 主任 上野 義人

こども支援課児童健全育成係 係長 稲垣 聰史

《開会》

【司会】 第4回古里小学校・音川小学校統合準備協議会を開催する。

早速ではあるが、谷口会長に議事の進行をお願いする。

【谷口会長】 それでは議事に入る。

《第1号報告「地域児童健全育成事業（子ども会）について報告》

【谷口会長】 それでは、まず第1号報告「地域児童健全育成事業（子ども会）について、報告を求める。

（こども支援課職員より地域児童健全育成事業（子ども会）について報告）

【谷口会長】 ただいまの報告について、質問等はあるか。

【委員】 使用できる対象学年が絞られることへの反応はどうか。

【こども支援課】 子ども会の運営協議会から利用する方へ話はしてもらっている。現在、5、6年生の利用はあまりないが4年生についてはある程度利用していることもあり、対象学年については協議中と聞いている。

【委員】 収容人数の60を超えた場合の対応はどうなるか。

【こども支援課】 現状、利用者は30名程度となっている。実際、60人を超えることはなく、音川地区と統合した後も60人を超えるこ

とはないと想定している。

【委員】 対象学年を決める際の基準のようなものはあるか。

【こども支援課】 高学年になると利用頻度も減ってくる。また、支援員の方の体制の問題等もある。そのようなことを踏まえ、子ども会の運営協議会で話し合った結果と聞いている。

【委員】 兄妹の場合、下の子は子ども会を利用できても、上の子は利用できず上の子だけ帰宅するということがあるのか。

【こども支援課】 現状、高学年と低学年は帰宅時間が異なっている。そのため、子ども会を利用している低学年の子を高学年の子が迎えに行って一緒に帰るということがある。

【委員】 先ほど4年生はある程度利用しているという話があったが、来年や再来年のことを考えるとそのまま継続して利用したいという人もいるかもしれない。そのようなことを踏まえて検討を続けてもらいたい。

【委員】 (古里小学校の) 近くの子どもであれば高学年が迎えに行って一緒に帰るということができるが、音川の子どもはスクールバスを利用して帰ることになる。そういったことも検討してもらいたい。

《第2号報告「C S (コミュニティスクール)について報告》

【谷口会長】 それでは、次に第2号報告、「C S (コミュニティスクール)について、報告を求める。

(盛委員よりC S (コミュニティスクール)について報告)

【谷口会長】 ただいまの報告について、質問等はあるか。

(質問等なし)

【谷口会長】 本日予定していた報告事項については以上となる。ほかに質問、意見はあるか。

【西田委員】 P T Aについて報告させていただく。1点目として音川地区の役員の追加について臨時P T A総会で承認を得たのでP T

A会則の変更を行った。2点目として、年間行事の朝の交通当番・旗振り当番については、古里地区は古里地区、音川地区は音川地区で行うこととした。資源回収については、古里地区・音川地区同じ日に行うような形を取っていきたいと考えている。3点目の役員について、毎年2月に決めている学年委員については古里からのみの選出とさせていただきたい。PTA執行部等の役員については音川地区から2月の上旬を目途に選出いただいて、顔合わせ後3月の全体役員会に臨みたいと考えている。

- 【盛委員】 (古里・音川の) 交流について、本日、音川小学校の子ども達が古里小学校にきて一緒に授業を受けて過ごした。給食はそれぞれの学校なのでお昼の時間には戻るという形で交流を行った。これまで行事にあわせた交流であったが、今回は授業にあわせて行った。3学期には登校時刻にあわせてスクールバスに乗車して古里小学校で過ごすという交流を計画している。
- 【委員】 生徒間同士の雰囲気はどうか。
- 【盛委員】 大分慣れてきたと言っている。
- 【委員】 家で子どもと話しているとすごく好評である。楽しいと言っており、(交流の)回数も増やしてほしいと言っていた。友達も同じ感じらしい。
- 【委員】 楽しんでいるようで安心した。

《閉会》

- 【谷口会長】 それでは、本日、協議会の協議・報告案件が全て終了した。したがって、協議会は、年度末に解散を行う予定としており、それまで追加の報告案件などなければ、本日が最後の協議会となる。終了の前に、音川地区を代表し、中山副会長よりご挨拶いただく。

(中山副会長 挨拶)

【谷口会長】 それでは、最後に私から挨拶させていただく。

(谷口会長 挨拶)

最後に事務局から何か連絡事項等はあるか。

【司会】 谷口会長からあったとおり、当協議会は追加の報告案件等がなければ年度末に解散を行う予定としている。追加の報告案件が出た場合には事務局まで連絡いただきたい。なお、解散及び会計監査については、書面で各委員に送付させていただく。

最後に教育委員会を代表し、山崎参事より一言ご挨拶させていただく。

(山崎参事 挨拶)

【谷口会長】 それでは、以上で、第4回古里小学校・音川小学校統合準備協議会を終了する。

―― 了 ――